

アポプラスキャリア ラーニングカフェ 産業保健師のトリセツ

保健師を上手に活用、効果的に協業するためのレシピ



「産業保健師が何をやっているのかわからない」「どうすればうまく連携できるのか」そんなお悩みはありませんか？産業保健師と人事部での就業経験を持つ講師とのセッションを通して、お悩み解決のためのヒントを探るラーニングカフェがオープンしました。

開催日時：2023年9月15日 16:00-17:30

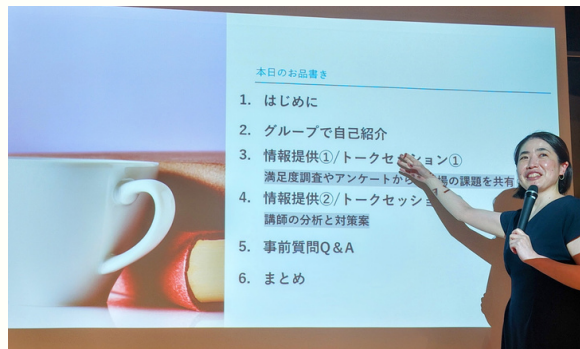
会場：新東京ビル4F SR MeetupSpace

講師：久保さやか 保健師

アポプラスキャリア株式会社 エグゼクティブアドバイザー

「聞く」「話す」「気づく」学びの場

今回は「産業保健師のトリセツ」をテーマに、産業保健師との連携や接し方に課題を感じる14名の健康管理担当者が集いました。①産業保健師と協業するためのヒントが分かり、今後の連携方法が具体的にイメージできる、②他社との情報共有を通し、自社の課題を捉えることができる、をゴールとし、「聞く」だけではないインタラクティブな内容で理解を深めました。



産業保健師はいったい何をする人ぞ

規模や業務内容、産業保健師在籍の有無も異なる企業で働く参加者たちは4つのテーブルに分かれ、自社の産業保健師活用度を・晴れ・曇り・雨などのお天気で示し現状を説明しました。講師は、そもそも産業保健師は法律でどのように規定されているのか、業務内容は何かを確認をした上で、満足度調査や参加者事前アンケートから、現場の現状と課題を共有しました。

連携時に立ちはだかるジレンマを知る

アンケートから産業保健師と協業する上でのさまざまな困難さも共有されました。講師は産業保健師と健康管理担当者間に業務上のジレンマが存在すると分析し、お互いが歩み寄る必要性を示しました。参加者は他社を知り自社を捉えなおすことで「産業保健師を自社でどう活用すればいいか」という正解のない問いと向き合いました。

産業保健師が持つべきスキルとは

産業産業保健師は看護師経験がベースにあることが多く、医療という専門的な分野で仕事をしてきた背景から、ポータブルスキルが不足しているとも分析しました。仕事のやり方や人との関わり方といった基礎的な社会人スキルの獲得や、会社が産業保健師に何を求めているのかをていねいに伝えていくことが必要だとも説明し、参加者は明日からの実務に使えるようなヒントを持ち帰りました。



参加者の感想

このような話を聞く場を求めています。同じ業務を行う方たちと話し、会社は違っても抱える悩みは共通しているのだとわかりました。



会社として保健師に何を求めているのかを明確にし、しっかりと伝えていくことが大切だと感じました。

お問合せ先

アポプラスキャリア株式会社
ヘルスケアソリューション事業部
カスタマーサクセス
〒100-0005
東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
新東京ビル7階
TEL 0120-842-862
MAIL apc-kan543@ap-c.co.jp